

対象校No. 258
注4

学校コード F135210111961
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

認可

注2
周南公立大学 人間健康科学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

公立大学法人周南公立大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営企画部経営企画課
職名・氏名	カチヨホ サ アラキ ヨウスケ 課長補佐 荒木 祐介
電話番号	0834-28-6880
(夜間)	0834-28-6880
e-mail	keieikikaku@shunan-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人間健康科学部

<福祉学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人周南公立大学

(2) 大学名 周南公立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒745-8566
山口県周南市学園台843-4-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカタ タカシ) 高田 隆 (令和4年4月)		
学長	(タカタ タカシ) 高田 隆 (令和4年4月)		
学部長	(ナカジマ ケン) 中嶋 健 (令和6年4月)		
学科長等	(ナンバ トシミツ) 難波 利光 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定案によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間健康科学部 福祉学科 学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	60人 0人 60 () []														
志願者数	() []	225 () []														
受験者数	() []	137 () []														
合格者数	() []	70 () []														
B 入学者数	() []	60 () []														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期											
1年次	() []	60 () []											
2年次			() []										
3年次					() []								
4年次							() []						
計	() []	60 () []											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留学者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	60 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間健康科学部 福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
人間形成と個性伸長のための科目群	周南Well-being創生入門	1前	2									1	
	周南Well-being創生論	2前	2			1						9	
	持続可能な社会とダイバーシティ	2-3-4前	2			1	1					8	
	異文化コミュニケーション	2-3-4前	2									4	
	教養スポーツ実習Ⅰ	1前	1									11	
	健康とスポーツ口	2-3-4前	2									1	
	人の健康生活	2-3-4前	1									4	
	健康と福祉	2-3-4前	2			1							
	メンタルヘルス入門	2-3-4前	1									1	
	小計(9科目)	-	5	10	0	2	2	0	0	0	0	33	
	地域の持続的発展と価値創造のための科目群	自然災害と防災	2-3-4前	2	1								1
		地域ゼミ	2通	2			4	2					1
		地域づくり論	2-3-4前	2									1
周南地域文化講座		2-3-4前	2									1	
周南地域と産業		2-3-4前	2									1	
ワークショップデザインⅠ		2-3-4通	2									4	
ワークショップデザインⅡ		3-4通	2									2	
ワークショップデザインⅢ		4通	2									2	
小計(8科目)	-	2	13	0	4	2	0	0	0	0	7		
リベラルアーツ科目群	倫理学Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	倫理学Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	哲学	2-3-4前	2									1	
	生活と経済経営	2-3-4前	2									5	
	日本国憲法	2-3-4前	2									1	
	中国語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	中国語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	韓国語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	韓国語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	ドイツ語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	ドイツ語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	11		
リテラシー科目群	教養ゼミ	1前	2			3	1					1	
	情報リテラシー	1前	2									2	
	データサイエンス入門	1後	2									1	
	情報倫理	2-3-4前	2									1	
	Python入門	2-3-4前	2									1	
	総合英語初級Ⅰ	1前	1									1	
	総合英語初級Ⅱ	1後	1									1	
	総合英語初中級Ⅰ	2前	1									1	
	総合英語初中級Ⅱ	2後	1									1	
	総合英語中上級Ⅰ	3-4前	1									1	
	総合英語中上級Ⅱ	3-4後	1									1	
	英会話初級Ⅰ	1前	1									1	
	英会話初級Ⅱ	1後	1									1	
小計(13科目)	-	12	6	0	3	1	0	0	0	0	7		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
人間形成と個性伸長のための科目群	周南Well-being創生入門	1前	2									1	
	周南Well-being創生論	2前	2			1						9	
	持続可能な社会とダイバーシティ	2-3-4前	2			1	1					8	
	異文化コミュニケーション	2-3-4前	2									4	
	教養スポーツ実習Ⅰ	1前	1									7	
	健康とスポーツ口	2-3-4前	2									1	
	人の健康生活	2-3-4前	1									4	
	健康と福祉	2-3-4前	2			1							
	メンタルヘルス入門	2-3-4前	1									1	
	小計(9科目)	-	5	10	0	2	2	0	0	0	0	33	
	地域の持続的発展と価値創造のための科目群	自然災害と防災	2-3-4前	2	1								1
		地域ゼミ	2通	2			4	2					1
		地域づくり論	2-3-4前	2									1
周南地域文化講座		2-3-4前	2									1	
周南地域と産業		2-3-4前	2									1	
ワークショップデザインⅠ		2-3-4通	2									4	
ワークショップデザインⅡ		3-4通	2									2	
ワークショップデザインⅢ		4通	2									2	
小計(8科目)	-	2	13	0	4	2	0	0	0	0	7		
リベラルアーツ科目群	倫理学Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	倫理学Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	哲学	2-3-4前	2									1	
	生活と経済経営	2-3-4前	2									5	
	日本国憲法	2-3-4前	2									1	
	中国語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	中国語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	韓国語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	韓国語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
	ドイツ語Ⅰ	2-3-4前	2									1	
	ドイツ語Ⅱ	2-3-4前	2									1	
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	11		
リテラシー科目群	教養ゼミ	1前	2			3	1					1	
	情報リテラシー	1前	2									2	
	データサイエンス入門	1後	2									1	
	情報倫理	2-3-4前	2									1	
	Python入門	2-3-4前	2									1	
	総合英語初級Ⅰ	1前	1									1	
	総合英語初級Ⅱ	1後	1									1	
	総合英語初中級Ⅰ	2前	1									1	
	総合英語初中級Ⅱ	2後	1									1	
	総合英語中上級Ⅰ	3-4前	1									1	
	総合英語中上級Ⅱ	3-4後	1									1	
	英会話初級Ⅰ	1前	1									1	
	英会話初級Ⅱ	1後	1									1	
小計(13科目)	-	12	6	0	3	1	0	0	0	0	7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門基礎科目	医学概論	1後	2								1	
	心理学と心理的支援	1前	2								1	
	社会学と社会システム	1前	2								1	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	2			2						
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	2			3	1					
	社会保障Ⅰ	2前	2			1						
	社会保障Ⅱ	2後	2			1						
	権利擁護を支える法制度	2前	2			1						
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3前	2				1					
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3後	2			1						
	高齢者福祉	2後	2			1						
	障害者福祉	3前	2			1						
	児童・家庭福祉	2前	2				1					
	貧困に対する支援	2前	2			1						
	保健医療と福祉	4前	2			1						
	刑事司法と福祉	2後	2			1						
	社会福祉調査の基礎	3前	2				1					
	福祉サービスの組織と経営	3前	2				1					
	社会福祉法制	2前	2			1						
	人間と健康	1前	2			2	2				5	
	NPO・ボランティア論	3後	2				1					
	地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ	1後	2			3	3					
	地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ	2前	2			3	3					
	地域福祉キャリア形成活動Ⅰ	1後	2			3	3					
	地域福祉キャリア形成活動Ⅱ	2前	2			3	3					
	小計(25科目)	-	50	0	0	8	4	0	0	0	0	8
	専門科目	多職種協働演習	3前	2			1					
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		1前	2				1					
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		1後	2			1						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2前	2				1					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2後	2			1						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		3前	2			1						
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		3後	2			1						
ソーシャルワーク演習Ⅰ		2前	2			1	2					
ソーシャルワーク演習Ⅱ		2後	2			2	1					
ソーシャルワーク演習Ⅲ		3前	2			2	1					
ソーシャルワーク演習Ⅳ		3後	2			3						
ソーシャルワーク演習Ⅴ		4前	2			3						
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2後	2			3						
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		3前	2			3						
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		3後	2			3						
ソーシャルワーク実習Ⅰ		3前・3後	5			5	2					
ソーシャルワーク実習Ⅱ		3前・4前	1			5	2					
卒業研究Ⅰ		3前	2			3	2					
卒業研究Ⅱ		4通	4			3	2					
小計(19科目)	-	40	2	0	7	3	0	0	0	0	0	
子ども系科目	保育原理	1・2・3・4	2				1					
	保育ソーシャルワーク論	3・4後	2				1					
	保育ソーシャルワーク演習	4前	2				1					
	社会的養護	3・4前	2								1	
	子どもの理解	1前	2				1					
	子どもの遊びと援助	1・2・3・4	2				1					
	子どもの保健	2・3・4前	2								1	
	幼児体育	3・4前	2								1	
	音楽理論	1・2・3・4	2								1	
	子どもの遊びと造形	2・3・4前	2								1	
	子どもの遊びと言葉	3・4後	2				1					
小計(11科目)	-	2	20	0	0	3	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門基礎科目	医学概論	1後	2								1	
	心理学と心理的支援	1後	2								1	
	社会学と社会システム	1前	2								1	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	2					2				
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	2				3	1				
	社会保障Ⅰ	2前	2				1					
	社会保障Ⅱ	2後	2				1					
	権利擁護を支える法制度	2前	2				1					
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3前	2					1				
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3後	2				1					
	高齢者福祉	2後	2				1					
	障害者福祉	3前	2				1					
	児童・家庭福祉	2前	2					1				
	貧困に対する支援	2前	2				1					
	保健医療と福祉	4前	2				1					
	刑事司法と福祉	2後	2				1					
	社会福祉調査の基礎	3前	2					1				
	福祉サービスの組織と経営	3前	2					1				
	社会福祉法制	2前	2				1					
	人間と健康	1前	2				2	2			5	
	NPO・ボランティア論	3後	2					1				
	地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ	1後	2				3	3				
	地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ	2前	2				3	3				
	地域福祉キャリア形成活動Ⅰ	1後	2				3	3				
	地域福祉キャリア形成活動Ⅱ	2前	2				3	3				
	小計(25科目)	-	50	0	0	8	4	0	0	0	0	8
	専門科目	多職種協働演習	3前	2				1				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		1前	2					1				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		1後	2				1					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2前	2					1				
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2後	2				1					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		3前	2				1					
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		3後	2				1					
ソーシャルワーク演習Ⅰ		2前	2				1	2				
ソーシャルワーク演習Ⅱ		2後	2				2	1				
ソーシャルワーク演習Ⅲ		3前	2				2	1				
ソーシャルワーク演習Ⅳ		3後	2				3					
ソーシャルワーク演習Ⅴ		4前	2				3					
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2後	2				3					
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		3前	2				3					
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		3後	2				3					
ソーシャルワーク実習Ⅰ		3前・3後	5				5	2				
ソーシャルワーク実習Ⅱ		3前・4前	1				5	2				
卒業研究Ⅰ		3前	2				3	2				
卒業研究Ⅱ		4通	4				3	2				
小計(19科目)	-	40	2	0	7	3	0	0	0	0	0	
子ども系科目	保育原理	1・2・3・4	2				1					
	保育ソーシャルワーク論	3・4後	2				1					
	保育ソーシャルワーク演習	4前	2				1					
	社会的養護	3・4前	2								1	
	子どもの理解	1前	2					1				
	子どもの遊びと援助	1・2・3・4	2					1				
	子どもの保健	2・3・4前	2								1	
	幼児体育	3・4前	2								1	
	音楽理論	1・2・3・4	2								1	
	子どもの遊びと造形	2・3・4前	2								1	
	子どもの遊びと言葉	3・4後	2					1				
小計(11科目)	-	2	20	0	0	3	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
シニア系科目	介護基礎理論Ⅰ	1前	2			1							
	介護基礎理論Ⅱ	1後	2			1							
	こことからだのしくみ	1後	2									2	
	介護演習Ⅰ	1後	2			1							
	介護演習Ⅱ	2前	2			1							
	介護演習Ⅲ	2後	2			1							
	福祉的ターミナルケア	2前	2			1							
	ケアマネジメント論	2後	2			1							
	小計(11科目)	-	2	14	0	1	1	0	0	0	0	2	
	地域系科目	地域観光まちづくり論	1前	2			1						
		健康まちづくり論	1後	2			1						
やまぐち地域福祉発達史		1後	2									1	
福祉自治論		1後	2									1	
地域公共政策論		1後	2			1							
地域マネジメント論		2前	2			1							
地域福祉経済論		2前	2			1							
政策評価		2後	2			1							
地域企業会計		2後	2			1							
社会福祉法人会計		2前	2			1							
地域企業分析		2前	2			1							
地域企業運営	2後	2			1								
小計(12科目)	-	2	22	0	3	0	0	0	0	0	2		
合計(116科目)	-	115	109	0	8	4	0	0	0	0	59		

卒業要件及び履修方法

必修科目115単位に加え、すべての科目区分から選択科目12単位以上を履修し、合計127単位以上を修得すること。
なお、選択科目12単位以上には、「専門科目」の「子ども系科目」「シニア系科目」「地域系科目」の選択科目6単位以上を含むこと。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
シニア系科目	介護基礎理論Ⅰ	1前	2			1							
	介護基礎理論Ⅱ	1後	2			1							
	こことからだのしくみ	1後	2									2	
	介護演習Ⅰ	1後	2			1							
	介護演習Ⅱ	2前	2			1							
	介護演習Ⅲ	2後	2			1							
	福祉的ターミナルケア	2前	2			1							
	ケアマネジメント論	2後	2			1							
	小計(11科目)	-	2	14	0	1	1	0	0	0	0	2	
	地域系科目	地域観光まちづくり論	1前	2			1						
		健康まちづくり論	1後	2			1						
やまぐち地域福祉発達史		1後	2									1	
福祉自治論		1後	2									1	
地域公共政策論		1後	2			1							
地域マネジメント論		2前	2			1							
地域福祉経済論		2前	2			1							
政策評価		2後	2			1							
地域企業会計		2後	2			1							
社会福祉法人会計		2前	2			1							
地域企業分析		2前	2			1							
地域企業運営	2後	2			1								
小計(12科目)	-	2	22	0	3	0	0	0	0	0	2		
合計(116科目)	-	115	109	0	8	4	0	0	0	0	57		

卒業要件及び履修方法

必修科目115単位に加え、すべての科目区分から選択科目12単位以上を履修し、合計127単位以上を修得すること。
なお、選択科目12単位以上には、「専門科目」の「子ども系科目」「シニア系科目」「地域系科目」の選択科目6単位以上を含むこと。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「随地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- 配当年次の変更
・ 兼任教員の都合により、「心理学と心理的支援」の年次配当を「1前」から「1後」に変更した。
- 専任教員等の配置変更
・ 兼任教員の辞退等により、「教養スポーツ実習Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「7」に変更した。
・ 学修効果を向上させるため、オムニバス方式で開講する「こことからだのしくみ」の兼任教員の担当回数を減じ、専任教員を追加した。
- その他
・ 兼任教員の辞退等により、兼任・兼任教員の合計数が「59」から「57」に変更した。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
59 科目	57 科目	0 科目	116 科目	59 科目 [0]	57 科目 [0]	0 科目 [0]	116 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	42,432 m ²	0 m ²	0 m ²	42,432 m ²				
	運動場用地	38,849 m ²	0 m ²	0 m ²	38,849 m ²				
	小 計	81,281 m ²	0 m ²	0 m ²	81,281 m ²				
	そ の 他	80,325 m ²	0 m ²	0 m ²	80,325 m ²				
	合 計	161,606 m ²	0 m ²	0 m ²	161,606 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		24,058 m ² (24,058 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	24,058 m ² (24,058 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		26 室	15 室	18 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人間健康科学部 福祉学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	【大学全体での共用分】 ・図書129,570冊	
	人間健康科学部 福祉学科	9,944 [662] (9,694 [662])	30 [4] (30 [4])	0 [0] (0 [0])	170 (170)	102 (102)	8 (8)		
	計	9,944 [662] (9,694 [662])	30 [4] (30 [4])	0 [0] (0 [0])	170 (170)	102 (102)	8 (8)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		2,262 m ²		210 席	233,778 冊		大学全体		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,184 m ²		陸上競技場1面、野球場1面、人工芝グラウンド1面、テニスコート2面 剣道場、柔道場、レスリング場、アーチェリー場			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費は大学全体での経費。図書購入費についてはデータベース整備費（運用コスト含む）を含む。 (変更理由) 経費等の見直しを行い、個人研究費の改正を行った。(6)	
	教員1人当り研究費等	30 15千円	30 15千円	図書購入費	59,473千円	12,621千円	12,621千円		
	共同研究費等	3,900千円	3,900千円	設備購入費	463,624千円	1,000千円	1,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		市外在住者							
		817.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円		
市内在住者	676.8千円								
学生納付金以外の維持方法の概要		周南市からの運営費交付金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	周南公立大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	—	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	—	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
経済学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和46	-	
現代経済学科	4	-	-	-	学士(経済)	-	-	-	昭和46	山口県周南市学園台843-4-2	令和6年度入学生より学生募集停止
ビジネス戦略学科	4	-	-	-	学士(経済)	-	-	-	昭和51	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
福祉情報学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成15	-	
人間コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(福祉情報)	-	-	-	平成15	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
経済経営学部	4	160	0	640	-	1.11	-	-	令和6	-	
経済経営学科	4	160	0	640	学士(経済経営学)	1.11	-	-	令和6	同上	
人間健康科学部	4	220	0	880	-	1.01	-	-	令和6	-	
スポーツ健康科学科	4	80	0	320	学士(スポーツ健康科学)	1.02	-	-	令和6	同上	
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.01	-	-	令和6	同上	
福祉学科	4	60	0	240	学士(社会福祉学)	1.00	-	-	令和6	同上	
情報科学部	4	100	0	400	-	1.09	-	-	令和6	-	
情報科学科	4	100	0	400	学士(情報科学)	1.09	-	-	令和6	同上	
大学全体	4	480	0	1920	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人間健康科学部 福祉学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	難波 利光 (55) <令和6年4月> 博士(学術)
		地域ゼミ 社会福祉の原理と政策Ⅰ※ 社会福祉の原理と政策Ⅱ※ 社会保障Ⅱ 貧困に対する支援 人間と健康※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域観光まちづくり論 健康まちづくり論
専	教授	伊藤 敏安 (69) <令和6年4月> 博士(経済学)
		地域ゼミ 教養ゼミ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 地域公共政策論 地域マネジメント論 地域福祉経済論 政策評価
専	教授	井上 浩 (56) <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 教養ゼミ 障害者福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	難波 利光 (55) <令和6年4月> 博士(学術)
		地域ゼミ 社会福祉の原理と政策Ⅰ※ 社会福祉の原理と政策Ⅱ※ 社会保障Ⅱ 貧困に対する支援 人間と健康※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域観光まちづくり論 健康まちづくり論
専	教授	伊藤 敏安 (69) <令和6年4月> 博士(経済学)
		地域ゼミ 教養ゼミ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 地域公共政策論 地域マネジメント論 地域福祉経済論 政策評価
専	教授	井上 浩 (56) <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 教養ゼミ 障害者福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	梅田 勝利 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	専	教授	梅田 勝利 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域ゼミ 教養ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域企業会計 社会福祉法人会計 地域企業分析 地域企業運営			地域ゼミ 教養ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域企業会計 社会福祉法人会計 地域企業分析 地域企業運営
専	教授	小林 武生 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(社会福祉学)※	専	教授	小林 武生 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(社会福祉学)※
		高齢者福祉 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 介護基礎理論Ⅰ ケアマネジメント論			高齢者福祉 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 介護基礎理論Ⅰ ケアマネジメント論
専	教授	守本 友美 (61) ＜令和6年4月＞ 文学修士	専	教授	守本 友美 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(医療福祉学)
		社会福祉の原理と政策Ⅱ※ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 保健医療と福祉 多職種協働演習 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ			社会福祉の原理と政策Ⅱ※ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 保健医療と福祉 多職種協働演習 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ
専	教授	脇野 幸太郎 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)※	専	教授	脇野 幸太郎 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)※
		周南Well-being創生論※ 地域ゼミ 社会保障Ⅰ 権利擁護を支える法制度 刑事司法と福祉 社会福祉法制 ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			周南Well-being創生論※ 地域ゼミ 社会保障Ⅰ 権利擁護を支える法制度 刑事司法と福祉 社会福祉法制 ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	輪倉 一広 (64) <令和6年4月> 博士(文学)
		社会福祉の原理と政策Ⅰ※ 社会福祉の原理と政策Ⅱ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ
専	准教授	牛島 豊広 (44) <令和6年4月> 修士(社会福祉学)
		社会福祉調査の基礎 福祉サービスの組織と経営 NPO・ボランティア論 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 保育ソーシャルワーク演習
専	准教授	金子 幸 (39) <令和6年4月> 修士(教育学)
		持続可能な社会とダイバーシティ※ 地域ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 保育原理 子どもの理解 子どもの遊びと援助 子どもの遊びと言葉

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	輪倉 一広 (64) <令和6年4月> 博士(文学)
		社会福祉の原理と政策Ⅰ※ 社会福祉の原理と政策Ⅱ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ
専	准教授	牛島 豊広 (44) <令和6年4月> 修士(社会福祉学)
		社会福祉調査の基礎 福祉サービスの組織と経営 NPO・ボランティア論 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 保育ソーシャルワーク演習
専	准教授	金子 幸 (39) <令和6年4月> 修士(教育学)
		持続可能な社会とダイバーシティ※ 地域ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ 地域福祉キャリア形成活動Ⅰ 地域福祉キャリア形成活動Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 保育原理 子どもの理解 子どもの遊びと援助 子どもの遊びと言葉

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	北村 光子 (60) <令和6年4月> 修士(学術・福祉)	専	准教授	北村 光子 (60) <令和6年4月> 修士(学術・福祉)
		健康と福祉 地域ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導 I 地域福祉キャリア形成活動指導 II 地域福祉キャリア形成活動 I 地域福祉キャリア形成活動 II 介護基礎理論 II 介護演習 I 介護演習 II 介護演習 III 福祉的ターミナルケア			健康と福祉 地域ゼミ 人間と健康※ 地域福祉キャリア形成活動指導 I 地域福祉キャリア形成活動指導 II 地域福祉キャリア形成活動 I 地域福祉キャリア形成活動 II 介護基礎理論 II 介護演習 I 介護演習 II 介護演習 III 福祉的ターミナルケア こころからだのしくみ※
専	准教授	竹下 徹 (44) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)	専	准教授	竹下 徹 (44) <令和6年4月> 博士(社会福祉学)
		教養ゼミ 社会福祉の原理と政策 II※ 地域福祉と包括的支援体制 I 児童・家庭福祉 ソーシャルワークの基盤と専門 職 I ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク実習 I ソーシャルワーク実習 II 保育ソーシャルワーク論			教養ゼミ 社会福祉の原理と政策 II※ 地域福祉と包括的支援体制 I 児童・家庭福祉 ソーシャルワークの基盤と専門 職 I ソーシャルワークの理論と方法 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク実習 I ソーシャルワーク実習 II 保育ソーシャルワーク論
兼任	講師	中嶋 健 (64) <令和6年4月> 修士(体育科学)※	兼任	講師	中嶋 健 (64) <令和6年4月> 修士(体育科学)※
		周南Well-being創生論※ 人間と健康※			周南Well-being創生論※ 人間と健康※
兼任	講師	江崎 和希 (56) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	江崎 和希 (56) <令和6年4月> 博士(医学)
		教養スポーツ実習 I 人間と健康※			教養スポーツ実習 I 人間と健康※
兼任	講師	大平 光子 (61) <令和6年4月> 博士(看護学)	兼任	講師	大平 光子 (60) <令和6年4月> 博士(看護学)
		周南Well-being創生論※ 人の健康生活※ 人間と健康※			周南Well-being創生論※ 人の健康生活※ 人間と健康※
兼任	講師	木全 晃 (64) <令和7年4月> 博士(学術)	兼任	講師	木全 晃 (63) <令和7年4月> 博士(学術)
		周南Well-being創生論※			周南Well-being創生論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長澤 賢一 (56) <令和6年10月> 博士(経営学)
		生活と経済経営※
兼任	講師	清原 泰治 (62) <令和6年4月> 体育学修士
		周南Well-being創生論※ 教養スポーツ実習 I
兼任	講師	松生 香里 (50) <令和6年4月> 博士(医学)
		教養スポーツ実習 I
兼任	講師	東恩納 玲代 (45) <令和6年4月> 博士(体育学)
		教養スポーツ実習 I
兼任	講師	鶴田 来美 (63) <令和7年4月> 修士(看護学)
		周南Well-being創生論※
兼任	講師	渡邊 淳子 (63) <令和6年4月> 博士(看護学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※
兼任	講師	山本 八千代 (67) <令和7年10月> 博士(看護学)
		人の健康生活※
兼任	講師	岡田 純也 (53) <令和6年10月> 修士(社会福祉学)
		人の健康生活※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長澤 賢一 (56) <令和6年9月> 博士(経営学)
		生活と経済経営※
兼任	講師	清原 泰治 (62) <令和6年4月> 体育学修士
		周南Well-being創生論※ 教養スポーツ実習 I
兼任	講師	東恩納 玲代 (45) <令和6年4月> 博士(体育学)
		教養スポーツ実習 I
兼任	講師	鶴田 来美 (62) <令和7年4月> 修士(看護学)
		周南Well-being創生論※
兼任	講師	渡邊 淳子 (63) <令和6年4月> 博士(看護学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※
兼任	講師	岡田 純也 (52) <令和6年9月> 修士(社会福祉学)
		人の健康生活※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	羽生 貞親 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		メンタルヘルス入門
兼任	講師	土屋 敏夫 (58) ＜令和7年4月＞ 博士(情報工学)
		周南Well-being創生論※
兼任	講師	渡部 明 (63) ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		周南Well-being創生入門 周南Well-being創生論※ 哲学 情報倫理
兼任	講師	田中 数恵 (59) ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching English as a Second Language (米国)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 異文化コミュニケーション※ 総合英語中上級 I
兼任	講師	呉 賛 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※
兼任	講師	小林 啓祐 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 周南地域文化講座
兼任	講師	田尾 真一 (37) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 生活と経済経営※
兼任	講師	岡井 理香 (41) ＜令和6年10月＞ 博士(学術)
		ワークショップデザイン I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	羽生 貞親 (56) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		メンタルヘルス入門
兼任	講師	土屋 敏夫 (57) ＜令和7年4月＞ 博士(情報工学)
		周南Well-being創生論※
兼任	講師	渡部 明 (63) ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		哲学 情報倫理
兼任	講師	田中 数恵 (59) ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching English as a Second Language (米国)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 異文化コミュニケーション※ 総合英語中上級 I
兼任	講師	
兼任	講師	小林 啓祐 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 周南地域文化講座
兼任	講師	田尾 真一 (37) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 生活と経済経営※
兼任	講師	岡井 理香 (40) ＜令和6年10月＞ 博士(学術)
		ワークショップデザイン I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	瀬尾 賢一郎 (45) <令和6年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		人間と健康※ 幼児体育
兼担	講師	小野 高志 (44) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		人間と健康※
兼担	講師	西山 健太 (35) <令和6年4月> 博士(教育学)
		教養スポーツ実習 I
兼担	講師	大達 亮 (39) <令和6年10月> 博士(看護学)
		人の健康生活※
兼担	講師	立部 文崇 (45) <令和6年10月> 修士(言語科学)
		異文化コミュニケーション※
兼担	講師	酒井 徹也 (42) <令和6年4月> 博士(情報学)
		Python入門
兼担	講師	呉 勅 (59) <令和6年10月> 博士(理学)
		データサイエンス入門
兼担	講師	大坂 遊 (36) <令和7年4月> 博士(教育学)
		ワークショップデザイン I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	瀬尾 賢一郎 (45) <令和6年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		人間と健康※ 幼児体育
兼担	講師	小野 高志 (45) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		人間と健康※
兼担	講師	西山 健太 (35) <令和6年4月> 博士(教育学)
		教養スポーツ実習 I
兼担	講師	大達 亮 (38) <令和6年9月> 博士(看護学)
		人の健康生活※
兼担	講師	立部 文崇 (45) <令和6年9月> 修士(言語科学)
		異文化コミュニケーション※
兼担	講師	酒井 徹也 (42) <令和6年4月> 博士(情報学)
		Python入門
兼担	講師	呉 勅 (59) <令和6年9月> 博士(理学)
		データサイエンス入門
兼担	講師	大坂 遊 (35) <令和7年4月> 博士(教育学)
		ワークショップデザイン I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 晋也 (42) <令和6年10月> 博士(日本語教育学)
		異文化コミュニケーション※
兼任	講師	田島 正士 (49) <令和6年10月> 博士(経済学)
		周南Well-being創生論※ 生活と経済経営※
兼任	講師	赤木 真由 (37) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリ ング学)
		周南Well-being創生論※ 持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 周南地域と産業 ワークショップデザインⅠ ワークショップデザインⅡ ワークショップデザインⅢ 生活と経済経営※
兼任	講師	稲垣 円 (45) <令和6年10月> 博士(政策・メディア)
		地域づくり論
兼任	講師	百武 仁志 (48) <令和6年10月> 修士(国際学)※
		生活と経済経営※
兼任	講師	水崎 佑毅 (36) <令和6年4月> 修士(体育学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※ 教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	日置 智子 (45) <令和6年4月> 修士(理学)※
		情報リテラシー データサイエンス入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 晋也 (41) <令和6年9月> 博士(日本語教育学)
		異文化コミュニケーション※
兼任	講師	田島 正士 (48) <令和6年9月> 博士(経済学)
		周南Well-being創生論※ 生活と経済経営※
兼任	講師	赤木 真由 (37) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリ ング学)
		周南Well-being創生論※ 持続可能な社会とダイバーシ ティ※ ワークショップデザインⅠ ワークショップデザインⅡ ワークショップデザインⅢ 生活と経済経営※
兼任	講師	稲垣 円 (44) <令和6年9月> 博士(政策・メディア)
		地域づくり論
兼任	講師	百武 仁志 (47) <令和6年9月> 修士(国際学)※
		生活と経済経営※ 周南地域と産業
兼任	講師	水崎 佑毅 (36) <令和6年4月> 修士(体育学)
		持続可能な社会とダイバーシ ティ※
兼任	講師	日置 智子 (45) <令和6年4月> 修士(理学)※
		情報リテラシー データサイエンス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺田 篤史 (43) <令和6年4月> 修士(文学)※
		持続可能な社会とダイバーシティ※ ワークショップデザインⅠ ワークショップデザインⅡ ワークショップデザインⅢ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ
兼任	講師	西村 浩子 (56) <令和6年4月> 博士(言語コミュニケーション文化)
		異文化コミュニケーション※ 総合英語初級Ⅰ 総合英語初級Ⅱ 総合英語中級Ⅰ 総合英語中級Ⅱ 総合英語中上級Ⅱ
兼任	講師	山本 八千代 (66) <令和6年10月> 博士(看護学)
		人の健康生活※
兼任	講師	羽生 貞親 (56) <令和6年4月> 博士(医学)
		メンタルヘルス入門
兼任	講師	宇野 直士 (37) <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		教養スポーツ実習Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺田 篤史 (43) <令和6年4月> 修士(文学)※
		持続可能な社会とダイバーシティ※ ワークショップデザインⅠ ワークショップデザインⅡ ワークショップデザインⅢ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ
兼任	講師	西村 浩子 (56) <令和6年4月> 博士(言語コミュニケーション文化)
		異文化コミュニケーション※ 総合英語初級Ⅰ 総合英語初級Ⅱ 総合英語中級Ⅰ 総合英語中級Ⅱ 総合英語中上級Ⅱ
兼任	講師	喜入 暁 (34) <令和6年4月> 博士(心理学)
		周南Well-being創生入門 周南Well-being創生論※
兼任	講師	井上 みゆき (65) <令和6年9月> 博士(医科学)
		人の健康生活※
兼任	講師	羽生 貞親 (56) <令和6年4月> 博士(医学)
		メンタルヘルス入門
兼任	講師	宇野 直士 (37) <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		教養スポーツ実習Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大庭 尚子 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(人文科学)
		教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	西 博史 (35) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	北 哲也 (38) ＜令和6年4月＞ 博士(体育学)
		教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	岡崎 祐介 (36) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	木村 玲欧 (50) ＜令和7年4月＞ 博士(情報学)
		自然災害と防災
兼任	講師	新井 誠 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	河村 玉 (62) ＜令和6年10月＞ 修士(経済学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	李 萬善 (67) ＜令和6年10月＞ 修士(文学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡崎 祐介 (37) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		教養スポーツ実習Ⅰ
兼任	講師	木村 玲欧 (49) ＜令和7年4月＞ 博士(情報学)
		自然災害と防災
兼任	講師	新井 誠 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	河村 玉 (61) ＜令和6年9月＞ 修士(経済学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	李 萬善 (67) ＜令和6年9月＞ 修士(文学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新枝 美帆 (52) ＜令和6年10月＞ 文学士
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	Pauline Baldwin (65) ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts (カナダ)
		英会話初級 I 英会話初級 II
兼任	講師	木村 相泰 (48) ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		医学概論
兼任	講師	藤川 卓也 (29) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)
		心理学と心理的支援
兼任	講師	瀬崎 譲廣 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		社会学と社会システム
兼任	講師	川村 宏司 (62) ＜令和8年4月＞ 学士(教育・体育)
		社会的養護
兼任	講師	光武 きよみ (63) ＜令和6年10月＞ 専門学校卒
		子どもの保健 こころとからだのしくみ※
兼任	講師	井町 美貴子 (62) ＜令和6年10月＞ 学士(教育学)
		音楽理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新枝 美帆 (51) ＜令和6年9月＞ 文学士
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	Pauline Baldwin (65) ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts (カナダ)
		英会話初級 I 英会話初級 II
兼任	講師	木村 相泰 (48) ＜令和6年9月＞ 博士(医学)
		医学概論
兼任	講師	藤川 卓也 (29) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)
		心理学と心理的支援
兼任	講師	瀬崎 譲廣 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		社会学と社会システム
兼任	講師	川村 宏司 (61) ＜令和8年4月＞ 学士(教育・体育)
		社会的養護
兼任	講師	光武 きよみ (62) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		子どもの保健
兼任	講師	井町 美貴子 (62) ＜令和6年9月＞ 学士(教育学)
		音楽理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	弘中 順一 (71) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)	兼任	講師	弘中 順一 (70) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		子どもの遊びと造形			子どもの遊びと造形
兼任	講師	原田 昌範 (49) ＜令和6年10月＞ 医学士	兼任	講師	原田 昌範 (48) ＜令和6年9月＞ 医学士
		こころとからだのしくみ※			こころとからだのしくみ※
兼任	講師	真木 奈美 (52) ＜令和6年10月＞ 文学修士	兼任	講師	真木 奈美 (51) ＜令和6年9月＞ 文学修士
		やまぐち地域福祉発達史			やまぐち地域福祉発達史
兼任	講師	水谷 利亮 (61) ＜令和6年10月＞ 修士(法学)	兼任	講師	水谷 利亮 (61) ＜令和6年9月＞ 修士(法学)
		福祉自治論			福祉自治論
兼任	講師	松崎 守利 (58) ＜令和6年10月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	松崎 守利 (58) ＜令和6年9月＞ 修士(体育学)
		健康とスポーツ			健康とスポーツ
			兼任	講師	呉 賢 (45) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
					持続可能な社会とダイバーシティ※
			兼任	講師	坪井 恭紀 (66) ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
					教養スポーツ実習Ⅰ
			兼任	講師	大谷 道明 (59) ＜令和6年9月＞ 博士(保健学)
					こころとからだのしくみ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認し
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- 担当科目の変更
 - ・オムニバス方式科目「こころとからだのしくみ」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：(兼任) 光武 きよみ
担当者：(専任) 北村 光子 令和5年12月教員審査済、(兼任) 大谷 道明
 - ・「周南Well-being創生入門」および「周南Well-being創生論」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：(兼任) 渡部 明
担当者：(兼任) 喜入 暁
 - ・「周南地域と産業」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：(兼任) 赤木 真由
担当者：(兼任) 百武 仁志
 - ・「教養スポーツ実習Ⅰ」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：(兼任) 松生 香里、(兼任) 大庭 尚子、西 博史、北 哲也
担当者：(兼任) 坪井 恭紀
 - ・「教養スポーツ実習Ⅱ」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
 - ・オムニバス方式科目「人の健康生活」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：(兼任・兼任) 山本 八千代
担当者：(兼任) 井上 みゆき
- 就任(予定)年月の変更
 - ・後期の開始日変更に伴い、令和6年度後期に就任する教員の就任(予定)年月を変更。
対象教員：(兼任) 長澤 賢一、岡田 純也、岡井 理香、大達 亮、立部 文崇、呉 鞠、山本 晋也、田島 正士、稲垣 円、百武 仁志
(兼任) 河村 玉、李 萬善、新枝 美帆、木村 相泰、井町 美貴子、原田 昌範、真木 奈美、水谷 利亮、松崎 守利
 - ・兼任教員の岡井講師の担当科目追加に伴い、就任(予定)年月を「令和6年10月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・兼任教員の光武講師の担当科目変更に伴い、就任(予定)年月を「令和6年10月」から「令和7年4月」に変更。
- その他
 - ・守本教授の学位取得により、保有学位等を「文学修士」から「博士(医療福祉学)」に変更。
 - ・兼任教員の吳講師が昨年度末に退職したことにより、兼任講師から兼任講師へ変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基
「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を
連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要 専任教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項
により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、
高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	4	0	0	12	0	8	4	0	0	12	0
(8)	(4)	(0)	(0)	(12)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	4	0	0	12	0	8	4	0	0	12	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、
及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、
「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{12} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認可時 (令和5年)	<p>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について普段の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p>	<p>2024年度入試においてアドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜を実施することで、人間健康科学部福祉学科では設置計画に定めた収容定員通りの学生数を確保した。</p>	<p>学修環境と学修効果に留意しつつ適切な入学者選抜を行うことで、今後も継続して収容定員に定める入学者数を確保するよう努める。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

<人間健康科学部 福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
公立大学法人周南公立大学 FD・SD委員会規程を制定し、公立大学法人周南公立大学 FD・SD 委員会を設置して
公立大学法人周南公立大学 FD・SD委員会規程（添付資料）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年4回程度開催

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SDの企画及び実施計画の立案
- ・ FD・SDの評価
- ・ FD・SD活動に関する情報の収集及び提供
- ・ FD・SD活動の推進に関する必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD研修会
- ・ 新入教職員研修
- ・ 学長講話
- ・ 研究推進体制の整備についての研修会
- ・ 研究倫理教育についての研修会
- ・ 配慮が必要な学生についての研修会

b 実施方法

- ・ FD研修会（外部講師を招聘し、教員を対象に対面・オンライン併用で開催した）
- ・ 新入教職員研修（学長が講師を務め、進入教職員を対象に対面で開催した）
- ・ 学長講話（学長が講師を務め、全教職員を対象に対面で開催した）
- ・ 研究推進体制の整備についての研修会（研究推進担当が講師を務め、研究に携わる教職員を対象に対面・オンライン併用で開催した）
- ・ 研究倫理教育についての研修会（e-learningを活用し、研究に携わる教職員を対象に開催した）
- ・ 配慮が必要な学生についての研修会（外部講師を招聘し、教職員を対象に対面・オンライン併用で開催した）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD研修会（対面45名）
- ・ 新入教職員研修（対面16名）
- ・ 学長講話（対面72名）
- ・ 研究推進体制の整備についての研修会（対面18名）
- ・ 研究倫理教育についての研修会（e-learning47名）
- ・ 配慮が必要な学生についての研修会（対面12名）

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
参加者等から提出された報告書に基づき、FD・SD委員会で内容をとりまとめ、全教職員に周知する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施時期：各 semester 最終授業日から定期試験期間終了日まで 実施方法：LMSシステムを使用

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、担当科目の結果を報告し、授業改善に努めて頂くとともに学生に対してのコメントを記入。
学生に対してはLMSシステムにて教員のコメントとともに結果を提示している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では学則第2条に基づき、教育研究水準の向上を図るため教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行うこととする。

<周南公立大学学則>

第2条 本学は、教育研究水準の向上によって本学の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するとともに、教育方法の改善のため、組織的な取組を行う。

2 本学は、前項で定める自己点検及び評価に加え、本学の教育研究活動の総合的状況について、学

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和6年8月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和6年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に公益財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしている旨の認定を受けた。次回は令和12年度に大学教育質保証・評価センターの評価を受けるべく、学内で自己点検評価を実施する。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○公立大学法人周南公立大学 FD・SD 委員会規程

(令和 5 年 3 月 14 日規程第 5 - 8 号)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、周南公立大学学則（令和 4 年規程第 1 - 3 号）第 2 条に基づき、FD・SD 委員会の運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議し、FD・SD を推進するための活動を行う。

- (1) FD・SD の企画及び実施計画の立案
- (2) FD・SD の評価
- (3) FD・SD 活動に関する情報の収集及び提供
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、FD・SD 活動の推進に関する必要な事項

(構成)

第 3 条 委員会は次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 総合教育センター長
- (2) 各学部から選出された教員
- (3) 総務課長
- (4) 前 3 号に掲げる者のほか、委員長が必要と認める者

2 委員長は総合教育センター長をもって充てる。

3 副委員長は、第 1 項の委員の中から理事長が指名した者をもって充てる。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員長は、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の委員会への出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

2 前項の規定により委員会に出席した委員以外の者は、議決に加わる権利を有しない。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、総務部総務課において行う。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は別に定める

附 則

この規程は、令和5年3月14日から施行し、令和4年4月1日から適用する。